

令和6年度第1回福祉のまちづくり研究所企画運営委員会調査研究部会【追跡評価】

No.	研究課題名	コメント
1	令和2年度終了研究課題 介助用車椅子の安全な移動情報提示に関する研究 開発	<ul style="list-style-type: none"> ・車椅子の簡易ブレーキ測定装置の開発・試作を行うとともに、経路提示ウェブシステムの開発に必要な知見を得ており、評価できる。 ・ユニバーサル社会において多機能化する「車椅子」の安全性向上は重要な課題であり、この課題に対し「車椅子」の重要な機械的特性であるブレーキ力に着目して、その有用性を明らかにした手法は先駆的な取組として高く評価できる。 ・県施策への貢献は低いですが、その後の開発に繋がった点は評価したい。 ・今回は車いす使用者を対象としているが、今後フィードバック効果を活用した施策の向上が必要と思われる。車いす使用者のみならず杖使用者、ベビーカー使用者などの使用者に向けた研究も必要となる。 ・「県施策への貢献」「今後の研究への発展」での自己評価は低いですが、本研究成果はそれらに活かされる可能性があるため、その点を追求してほしい。
2	令和2年度終了研究課題 モーション・パラメータ臨床技術開発	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の予防介護、特にフレイル評価にICT技術を適用する先駆的な課題であり、成果を広く開示することで種々の副次的効果を生み出している。 ・国際会議で研究発表をしている点、特許を3件も取得している点も高く評価できる。 ・開発から実用化へと順調に進んでおり、本取組は高く評価できる。 ・特に、地方行政機関との連携を進め、研究成果を国民の健康増進に役立てて欲しい。 ・地域における健康教室や高齢者大学で活用され、地域におけるフレイル対策に寄与するなど今後の研究へのフィードバック効果が期待される。